

【特別講演1】 17:00~17:50

座長 株式会社フェニックスバイオ 立野 知世

「低分子化合物により作製したヒト肝前駆細胞の性状と臨床応用」

東京医科大学医学総合研究所分子細胞治療研究部門 教授
落谷 孝広 先生

【特別講演2】 17:50~18:40

座長 広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

「糖尿病・肝疾患診療とブレインサイエンス」

琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科) 教授
益崎 裕章 先生

おわりに

広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹

敷地内マップ



場所:広島大学病院 広仁会館 2階「大会議室」
広島市南区霞1-2-3 TEL 082-257-5098

本シンポジウムは、日本医療研究開発機構 (AMED) による補助を得ています
研究会終了後、意見交換会を予定しております
マイカーでお越しの際は、飲酒をお控えくださいますようお願い致します

共催:広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム/田辺三菱製薬株式会社

第15回 広島肝臓プロジェクト研究センター シンポジウムのご案内

日時 令和元年7月6日(土)
13:00~18:40

場所 広島大学医学部広仁会館

廣仁会館 ↓ 広仁会館へ変更しております。ご確認ください。

PROGRAM

開会のあいさつ

広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

一般演題

13:00~ セッションI ウイルス性肝炎HBV

座長 国立病院機構呉医療センター外科 田代 裕尊
広島大学大学院消化器・代謝内科学 今村 道雄

1. B型肝炎モデルマウスを用いたCTL関連抗原4免疫グロブリン(CTLA4Ig)の有効性及びB型肝炎重症例に対するアバセプト治療の検討(Pilot Study)

寺岡 雄史、今村 道雄、大沢 光毅、藤野 初江、盛生 慶、大野 敦司、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、河岡 友和、三木 大樹、柘植 雅貴、平松 憲、相方 浩、茶山 一彰
広島大学大学院消化器・代謝内科学、広島大学肝臓・消化器研究拠点

2. Sero-prevalence of hepatitis B surface antigen among 5-7 years old children and their mothers by nationwide multi-stage stratified random sampling strategy in Cambodia

Ko Ko¹, Joseph Woodring², Ork Vichit³, Mao Bunsoth⁴, Shintaro Nagashima¹, Chikako Yamamoto¹, Chuon Channarena¹, Md. Shafiqul, Hossain⁵, Junko Tanaka¹
Department of Epidemiology, Infectious Disease Control and Prevention, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University¹, Expanded Programme on Immunization, World Health Organization Regional Office for the Western Pacific, Manila, Philippines², National Immunization Programme, Ministry of Health, Phnom Penh, Cambodia³, University of Health Sciences, Phnom Penh, Cambodia⁴, Expanded Programme on Immunization, World Health Organization Country Office, Phnom Penh, Cambodia⁵

3. HBV母子感染防止事業における妊婦集団のHBs抗原陽性率と感染防止に関する疫学的考察

杉山 文、田中 純子
広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学

4. HBワクチン3回接種後のHBs抗体獲得と変動に関する医歯学生を対象とした血清疫学的研究

永島 慎太郎、山本 周子、Ko Ko、大久 真幸、秋田 智之、片山 恵子、田中 純子
広島大学大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学

13:40~ セッションII ウイルス性肝炎HCV

座長 広島大学大学院疫学・疾病制御学 田中 純子
川崎医科大学肝胆膵内科学 日野 啓輔

5. 非代償性C型肝炎に対するDAA治療(イギリスでの4年間の経過)

熊田 卓¹、豊田 秀徳²、安田 諭²、三宅 望²
岐阜協立大学看護学部¹、大垣市民病院消化器内科²

6. Genetic Variability of HCV among general population in Cambodia

山本周子^{1,2}、永島慎太郎^{1,2}、Somana Svay³、Sirany Hok³、Son Huy Do⁴、Channarena Chuon^{1,2}、Ko Ko^{1,2}、藤井絃子^{1,2}、片山恵子^{1,2}、高橋和明^{1,2}、田中純子¹
広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学¹、広島大学肝炎肝癌対策プロジェクトセンター²、Ministry of Health, Phnom Penh, Cambodia³、Binh Thuan Medical College, Phan Thiet City, Binh Thuan Province, Vietnam⁴

7. C型肝炎ウイルスコア蛋白質の成熟機構の解明とその意義

岡本 徹^{1,2}、平野 順紀¹、勝二 郁夫³、森石 恆司⁴、小池 和彦⁵、松浦 善治¹
大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野¹、高等共創研究院²、神戸大学医学研究科感染制御学分野³、山梨大学医学部微生物学講座⁴、東京大学医学系研究科消化器内科学⁵

8. Ribonucleotide reductase M2 promotes RNA replication of hepatitis C virus by protecting NS5B protein from hPLIC1-dependent proteasomal degradation

Kyoko Tsukiyama-Kohara^{1,2}、Bouchra Kitab^{1,2}、Masaaki Satoh³、Yusuke Ohmori⁴、Tsubasa Munakata⁵、Masayuki Sudoh⁴、Michinori Kohara⁵
Transboundary Animal Diseases Centre, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University¹、Laboratory of Animal Hygiene, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University²、Virology I, National Institute of Infection and Diseases³、Research Division, Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.⁴、Department of Microbiology and Cell Biology, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science⁵

14:20~ セッションIII 遺伝子改変・免疫

座長 広島大学大学院ウイルス学 坂口 剛正
広島大学大学院消化器・代謝内科学 柘植 雅貴

9. ウイルス遺伝子の発現抑制により高い安全性と長期的な遺伝子発現を可能にした改良型アデノウイルスベクターの開発

櫻井 文教¹、清水 かほり^{1,2}、飯塚 俊輔¹、塚本 智仁¹、西前 文敬¹、酒井 英子¹、高山 和雄^{1,3,4}、石田 雄二⁵、立野(向谷)知世⁶、茶山 一彰⁶、水口 裕之^{1,4,7}
大阪大学大学院薬学研究所¹、大阪大谷大学薬学部²、JSTさきがけ³、医薬基盤・健康・栄養研究所⁴、株式会社フェニックスバイオ⁵、広島大学大学院医学研究科⁶、大阪大学MEIセンター⁷

10. CRISPR-Cas12a搭載アデノウイルスベクターによるゲノム編集

塚本 智仁¹、酒井 英子¹、西前 文敬¹、石田 雄二²、立野(向谷)知世²、茶山 一彰²、櫻井 文教¹、水口 裕之^{1,4,5}
大阪大学大学院薬学研究所¹、株式会社フェニックスバイオ²、広島大学大学院医学研究科³、医薬基盤・健康・栄養研究所⁴、大阪大学MEIセンター⁵

11. B型肝炎研究のための遺伝子組換えセンダイウイルスの製作

坂口 剛正¹、奈良井 清夏¹、吉元 玲子¹、茶山 一彰²、佐久間 哲史³、山本 卓³
広島大学大学院医系科学研究科ウイルス学¹、広島大学医系科学研究科消化器代謝内科学²、広島大学統合生命科学研究所システムゲノム科学³

12. Everolimus enhances TRAIL-mediated anti-tumor activity of liver resident natural killer cells in mice

Saparbay Jamiliya, Yuka Tanaka, Masahiro Ohira, Doskali Marlen, Yuki Imaoka, Koki Sato, Akhmet Seidakhmetov, Hideki Ohdan
Department of Gastroenterological and Transplant Surgery, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Research Center for Hepatology and Gastroenterology

15:00~15:15 Coffee Break

15:15~ セッションIV NASH・線維化・再生

座長 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門 汐田 剛史
JA広島総合病院消化器内科 兵庫 秀幸

13. 四塩化炭素誘導肝硬変モデルマウスでの間葉系幹細胞由来exosomeの線維化改善効果の検証

土屋 淳紀、竹内 卓、野尻 俊介、小川 雅裕、寺井 崇二
新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

14. コリン欠乏メチオニン減量高脂肪食(CDAHFD)を用いたヒト肝臓キメラマウスの非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)モデル開発

喜早 慧士¹、菅原 豪¹、古川 鈴恵¹、小川 裕子¹、石田 雄二^{1,2}、小原 道法³、立野 知世^{1,2}
株式会社フェニックスバイオ¹、広島大学肝臓・消化器研究拠点²、東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト³

15. CBP/β-cateninシグナル阻害剤PRI-724によるNASH肝線維症改善

小原 道法¹、山地賢三郎¹、徳永 優子¹、小原恭子²、大澤 陽介³、木村 公則⁴
東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト¹、鹿児島大学共同獣医学部²、国立国際医療研究センター³、東京都立駒込病院肝臓内科⁴

16. 肝硬変モデルマウスにおけるTGFβ阻害剤galunisertibの抗線維化作用と肝再生促進作用

増田 篤高、中村 徹、古賀 浩徳、安倍 満彦、岩本 英希、阪上 尊彦、田中 俊光、鈴木 浩之、鳥村 拓司
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門

17. Platelets stimulate liver regeneration in a 30% partial liver transplantation model in rat

Chen Liang, Kazuhiro Takahashi, Tatsuya Oda, Nobuhiro Ohkohchi
Department of Surgery, University of Tsukuba

16:05~ セッションV 癌

座長 広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹
高陽ニュータウン病院 高橋 祥一

18. 肝癌細胞の糖代謝抑制によるがん微小環境での腫瘍免疫賦活化作用とその臨床応用

佐々木 恭、仁科 惣治、日野 啓輔
川崎医科大学肝胆膵内科学

19. 長鎖非コードRNA NEAT1による肝癌幹細胞維持メカニズム

土谷 博之、汐田 剛史
鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門

20. Functional analysis of Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 Binding Protein (M2BPGi) on hepatocellular carcinoma

Dolgormaa Gantumur, 播本 憲史、村主 遼、星野 弘毅、萩原 慶、山中 崇弘、石井 範洋、塚越 真梨子、五十嵐 隆通、渡辺 亮、久保 憲生、新木 健一郎、調 憲
群馬大学肝胆膵外科学

21. アンチトロンピンは肝腫瘍進展を抑制する

田代 裕尊¹、沖本 将^{1,2}、岩子 寛^{1,2}、山口 恵美^{1,2}、黒田 慎太郎²、小林 剛²、大段 秀樹²
独立行政法人国立病院機構呉医療センター中国がんセンター外科¹、広島大学消化器・移植外科²

16:45~17:00 Coffee Break